

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (3/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考					
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期事業者検査の回数 (起点となる回数: 21回)										
		系統名	ライン名称		21	22	23	24			25	26	27		
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレシステム	格納容器Bスプレイポンプ入口ライン	VT-2		●							SA2		
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Aスプレイポンプ出口ライン	VT-2				●						SA2	
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Bスプレイポンプ出口ライン	VT-2					●					SA1 SA2	
C7.10 C7.70	C-H	格納容器スプレシステム	よう素除去薬品タンク及びび出入口ライン	VT-2		●							-		
C7.30 C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン (A)	VT-2		●							-		
C7.30 C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン (B)	VT-2		●								-	
C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	VT-2			●						SA2		
C7.30 C7.70	C-H		B蒸気発生器給水入口ライン	VT-2			●						SA2		
C7.30 C7.70	C-H		C蒸気発生器給水入口ライン	VT-2			●						SA2		
C7.10 C7.70	C-H	主蒸気及び再熱蒸気系統、再熱蒸気ドレシステム	A蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2					●				SA2		
C7.10 C7.70	C-H		B蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2							○		SA2		
C7.10 C7.70	C-H		C蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2								○	SA2		
C7.30 C7.70	C-H	1次冷却材系統	加圧器逃しタンクPMW供給ライン	VT-2		●							-		
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	RCP封水注入戻りライン	VT-2		●							-		
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	蓄圧タンクN2供給ライン	VT-2								○	-		
C7.30 C7.70	C-H		蓄圧タンクテストライン	VT-2					●				-		

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (4/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考			
		系統名	ライン名称	定期事業者検査の回数 (起点となる回数：21回)								SMTパス		
				21	22	23	24	25	26	27				
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	ライン名称	検査方法										
			蓄圧タンク充てんライン	VT-2						○				
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統	原子炉キャビティ浄化入ロライン	VT-2	●									
C7.30 C7.70	C-H		原子炉キャビティ浄化出ロライン	VT-2							○			
C7.30 C7.70	C-H	液体廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンタンク出口ライン	VT-2				●						
C7.30 C7.70	C-H		格納容器サンプポンプ出口ライン	VT-2		●								
C7.30 C7.70	C-H		A蒸気発生器ブロダウライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H		B蒸気発生器ブロダウライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H	蒸気発生器ブロダウライン及びピPING系統	C蒸気発生器ブロダウライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H		A蒸気発生器サンプルライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H		B蒸気発生器サンプルライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H		C蒸気発生器サンプルライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補給水系統	原子炉補給水ライン (DW)	VT-2								○		
C7.30 C7.70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン	VT-2								○		
C7.30 C7.70	C-H	補助蒸気系統	補助蒸気ライン	VT-2						●				
C7.30 C7.70	C-H	消火装置系統	消火装置ライン	VT-2				●						
C7.30 C7.70	C-H		R C P C02消火装置ライン	VT-2				●						

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5 (保全重要度：高)
 (5) クラス2機器漏えい検査 (6/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考			
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		定期事業者検査の回数 (起点となる回数：21回)								
		系統名	ライン名称	21	22	23	24	25	26	27		
C7.30	C7.70	C-H	制御棒駆動装置冷却水入口ライン	VT-2			●				—	
C7.30	C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	制御棒駆動装置冷却水出口ライン (A)	VT-2		●				—	
C7.30	C7.70	C-H		制御棒駆動装置冷却水出口ライン (B)	VT-2		●					—
C7.30	C7.70	C-H	格納容器冷却材ドレン冷却器冷却水出口ライン	VT-2			●				—	
C7.30	C7.70	C-H	制御用空気系統	制御用空気Aヘッダーライン	VT-2				●		SA2	
C7.30	C7.70	C-H		制御用空気Bヘッダーライン	VT-2					●		SA2
C7.30	C7.70	C-H	1次冷却材系統	加圧器圧力校正ライン	VT-2						—	○

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
			体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積 (可能範囲)	100%		
			体積 (可能範囲)	100%		
			体積 (可能範囲)	100%		
			体積 (可能範囲)	100%		
			体積 (可能範囲)	100%		
			体積	100%		
			体積及び表面	100% (可能範囲)		
			VT-1	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			VT-1	100%		
					UT及びSPTについてはNi基金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)	

※ 第25回定事検以降は維持規格JSM E S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む) を適用
 ※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」を適用

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
			検査方法	検査範囲		
			VT-1	25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
			体積又は表面	最外周の25%		
			VT-3	100% (可能範囲)		
			VT-3	100% (可能範囲)		
			VT-3	100% (可能範囲)		
			VT-3	100% (可能範囲)		
			VT-3	25% (可能範囲)		

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200 (保全重要度：高)



項番	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
			体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
			体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)		
			ベアメタル検査	100% (可能範囲)		
			ベアメタル検査	100% (可能範囲)		

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
[Redacted]	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	[Redacted]	体積	5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			体積	5%	
			体積	10%	
			体積	10%	
			体積	5%	
			体積	管台数の25%	
			体積	管台数の25%	
			体積		
			体積		
			体積		
			体積		

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012(※)		川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (7年間)	備考	
	検査の对象箇所	検査方法及び検査範囲			
		体積及び表面	クラス1機器供用期間中検査で管理	UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)	
		溶接継手(管台)数の25%			
		VT-1			25%
		表面			7.5%
		VT-3	25% (可能範囲)		

※2 第19回定事検査管台とセーフエンドの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200 (保全重要度：高)



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
			体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				100%		
			体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
			体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
			体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		

※2 第19回定事検査管台とセーフエンドの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考	
			検査方法	検査範囲			
			体積	代表1基の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理		
			体積	代表1基の25%			
			体積及び表面	代表1基の溶解継手数の25%			UT及びPTにおいてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)
			VT-1	代表1基の25%			
			表面	代表1基の7.5%			
			体積	100%			
			VT-3	代表1基の25%(可能範囲)			

注：第22回定事検査蒸気発生器取替(650系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200 (保全重要度：高)



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
			体積、表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				100%		



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
			体積	UT実施箇所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
			体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012(※)				検査範囲	検査方法	検査の対象箇所	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲				
						川内原子力発電所第2号機検査計画(7年間)	
			体積	代表1台の25%		クラス1 機器供用期間中検査で管理	
			VT-1	代表1台の25%			
			VT-1	代表1台の25%			
			VT-1	代表1台の25%			
			VT-3	代表1台の100%			
			VT-3	代表1台の25%(可能範囲)			

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200 (保全重要度：高)

項番	目号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格_維持規格_JSME_S_NA1-2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
				検査方法	検査範囲		
				VT-1	25%		
				体積	25%		
				表面	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				体積	25%		
				表面	25%		
				表面	25%		

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格_維持規格_JSME_S_NA1-2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
			検査方法	検査範囲		
			VT-3	支持構造物 全数の 25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査SN2-200(保全重要度:高)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JISME S NAI-2012(※)		設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)						備考
			検査方法	検査範囲				25	26	27	28	29	30	
			表面	7.5%										
			表面	7.5%										
			表面	7.5%										
			VT-3	7.5%										

クラス2機器供用期間中検査で管理

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN2-200(保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所2号機検査計画(10年間)						備考								
					設備数	検査方法	検査範囲	25	26	27		28	29	30	31				
			VT-4	25%	56箇所	VT-4	100% (56箇所)					56箇所							

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (1)原子炉容器 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考	
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%			クラス1機器供用期間中検査で管理
B2.111	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	100%			
		下部胴とトランジションリングの周溶接継手	体積	100%			
B3.105	B-C	トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	体積	100%			
		上部胴と上部胴フランジの溶接継手	体積 (可能範囲)	100%			
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジの溶接継手	体積 (可能範囲)	100%			
		冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積 (可能範囲)	100%			
B3.10	B-D	冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積 (可能範囲)	100%			
		冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積 (可能範囲)	100%			
B3.20	B-D	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積	100%			
		冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	100%			
B5.10	B-F	冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手	体積	100%			
		冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積	100%			
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%			
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%			
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%			
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%			

※ 第25回定事検以降は維持規格JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む) を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」を適用

※2 本範囲は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」の改正 (クラス2機器非破壊免除規定の適用除外) に伴い追加された検査対象箇所であり、追加時期が第4検査間隔の第2検査時期であることから維持規格「IA-2320(6)b」に従い、

要求された検査程度の25%について検査を行う。

UT及びPPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象 (亀裂の解釈(※1)対応)

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (1) 原子炉容器 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボリ締付け部 T/Cハジツグのクランプ	VT-1	25%		
B14.10	B-0	制御駆動装置ハジツグの溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)		
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)		
		内部取付け物 炉心支持構造物				
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)		
		下部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)		

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (1) 原子炉容器 (3/3)
 加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手の溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)		
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	100% (可能範囲)		
		原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	100% (可能範囲)		

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (1/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
		検査の対象箇所	検査方法			
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%		
B2. 12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%		
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%		
B2. 13	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%		
B3. 30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%		
		ハズ用管台と容器との溶接継手				
		スプレイ用管台と容器との溶接継手				
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手				
		安全弁用管台と容器との溶接継手				
B3. 40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%		
		ハズ用管台内面の丸みの部分				
		スプレイ用管台内面の丸みの部分				
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分				
		安全弁用管台内面の丸みの部分				

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(7年間)	備考
B5.40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手 セーフ用管台とセーフエントの溶接継手※2 スプレイ用管台とセーフエントの溶接継手※2 逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2 安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%		
B7.20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 マンホール取付ボルト	VT-1	25%		
B8.20	B-H	容器の支持部材取付け溶接継手 スカート取付け溶接継手	表面	7.5%		
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎等)を含む	VT-3	25%(可能範囲)		

※2 第19回定事検査管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (2) 加圧器 (3/3)
 加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考	
-	-	サーボ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25% 100%	クラス1機器供用期間中検査で管理		
		ブレイ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25% 100%			
-	-	逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25% 100%			
		安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びびべアメタル検査	溶接継手(管台)数の25% 100%			

※2 第19回定事検査管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (3) 蒸気発生器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	備考		
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板の周溶接継手	体積	代表1基の25%				
B3. 60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積	代表1基の25%				
B5. 70	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフットの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%				UT及びPTにおいてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)
		冷却材出入口管台とセーフットの溶接継手						
B7. 30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1基の25%				
		マンホール取付けボルト						
B8. 30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%				
B16. 20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%				
F1. 41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎等を含む)	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)				

注：第22回定事検査蒸気発生器取替(690系Ni基合金化)

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (3) 蒸気発生器 (2/2)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧カバウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエンドの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手		100%		
		冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手				

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエンドの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手	体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (4) 1次冷却材ポンプ (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
		直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部				
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B6.190	B-G-1	フランジ表面 (ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%		
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%		
B7.60	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部				
		シールハウジング用ボルト	VT-1	代表1台の25%		
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%		
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ベース、プレート、基礎等も含む)	VT-3	代表1台の25% (可能範囲)		

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (5)クラス1弁 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B6.210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ボルト, 植込みボルト)	体積	代表1台の25%	
		RHRS高温側出口パイプ			
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口パイプ 2V-RH-003A, 003B			
B6.220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (フランジ表面)	VT-1	代表1台の25%	
		RHRS高温側出口パイプ			
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口パイプ 2V-RH-003A, 003B			
B6.230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ナット, プラッシング, プラッシング)	VT-1	代表1台の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		RHRS高温側出口パイプ			
		2V-RH-001A, 001B 余熱除去ボンプ入口パイプ 2V-RH-003A, 003B			
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	
		加圧器逃がしパイプ (2V-RC-054A, 054B)			
		加圧器逃がしパイプ (2-PCV-454C, 455)			
		加圧器逃がしパイプ (2V-RC-053)			
		加圧器安全弁パイプ (2V-RC-055~057)			
		CVCS再生熱交換器側入口パイプ (2-LCV-451, 452) クロスオーバーパイプ側パイプ (2V-RC-017)			

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (5)クラス1弁 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%		
		ガス対バブルゲドレンライン (2V-RC-019A～C)				
		CVCS再生熱交換器出口～RCS低温側充てんライン (2V-CS-228, 229)				
		SIS蓄圧カク出口ライン (2V-SI-134A～C, 136A～C)				
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)				
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A～C, 203A～C)				
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)				
		弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱)				
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055～057)				
		RHRS高温側出口ライン (2V-RH-001A, 001B)				
B12. 50	B-M-2	余熱除去ポンプ入口ライン (2V-RH-003A, 003B)	VT-3	代表1台		
		SIS蓄圧カク出口ライン (2V-SI-134A～C, 136A～C)				
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)				
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A～C, 203A～C)				
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)				

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (5)クラス1弁 (3/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
F 1.41	F-A	加圧器安全弁ライク (2V-RC-055～057)	VT-3	支持構造物全数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器逃がしライク (2V-RC-054A, 054B)				
		加圧器逃がしライク (2-PCV-454C, 455)				
		CVCS再生熱交換器側 入口ライク (2-1CV-451, 452)				
		RHRS高温側出口ライク (2V-RH-001A, 001B)				
		余熱除去ポンプ入口ライク (2V-RH-003A, 003B)				

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (1/4)

発用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B 7.50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%
		封水注入ライン		
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%
		一次冷却材管		
		加圧器デゾライン		
		加圧器安全弁ライン		
		加圧器逃がしライン		
		RHS高温側出口ライン		
		余熱除去ポンプ入口ライン		
		SIS蓄圧タンク出口ライン		
		SIS高温側低圧注入ライン		
		SIS低温側低圧注入ライン		
SIS高温側補助注入ライン				
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%
		加圧器逃がしライン		
		クロスオーバーレグ分岐管閉止キョップ		
		クロスオーバーレグドレンライン		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (2/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%		
		CVCS再生熱交換器胴側 入ロライク				
		CVCS再生熱交換器出口～ RCS低温側充てんライク				
		封水注入ライク				
		SISほう酸注入カク～ RCS低温側注入ライク				
		SIS高温側補助注入ライク				
		SIS低温側補助注入ライク				
		余熱除去ポンプ入ロライク				
B 9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%		
		一次冷却材管				
B 9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%		
		一次冷却材管				
		SIS高温側低圧注入ライク				
		SIS低温側低圧注入ライク				
		余熱除去ポンプ入ロライク				
B 9.40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ワット溶接継手)	表面	25%		
		一次冷却材管				
		クロスオーバーレグドレンライク				

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B 9.40	母管と管台との溶接継手 (ケット溶接継手)	表面	25%	
	封水注入ライン			
	SISほう酸注入ライン RCS低温側注入ライン			
	SIS高温側補助注入ライン			
	SIS低温側補助注入ライン			
F 1.10	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
	加圧器ケーシング			
	加圧器逃がしライン			
	クラス1バレルドレンライン			
	CVCS再生熱交換器側入口 ライン			
	CVCS再生熱交換器出口～ RCS低温側充てんライン			

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)
 (6) クラス1配管 (4/4)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
F 1.10 F-A		支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
		封水注入ライン				
		RHRS高温側出口ライン				
		余熱除去ポンプ入口ライン				
		SIS蓄圧タンク出口ライン				
		SIS高温側低圧注入ライン				
		SIS低温側低圧注入ライン				
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン				
		SIS高温側補助注入ライン				
		SIS低温側補助注入ライン				

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
-	-	余熱除去ポンプ入口ライン配管と管台との溶接継手	表面	100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(7)容器(1/3)

蒸気発生器

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	20		21	22	23	24	25	26
C1.10	C-A	上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C1.10	C-A	円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C1.20	C-A	上部鏡と上部胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C1.30	C-A	下部胴と管板の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C2.21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%											
C2.21	C-B	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%											
C2.22	C-B	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%											
C2.22	C-B	蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%											

クラス2 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
(7)容器(2/3)

余熱除去冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
						定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)								
						20	21	22	23	24	25	26	27	
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基							26	27	
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基									
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	3箇所×2基									

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器(胴側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
						定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)								
						20	21	22	23	24	25	26	27	
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基							26	27	(A) 7.5%
C1.10	C-A	胴側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基					(A) 7.5%				
C3.10	C-C	胴と当板脚の溶接継手	表面	代表1基の7.5%	12箇所×2基								1箇所	
F1.43	F-A	当板脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×2基								1箇所	

格納容器スプレイ冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
						定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)								
						20	21	22	23	24	25	26	27	
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ｼｰﾄﾞ/基×2基									
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	3箇所×2基									

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(7)容器(3/3)

ほう酸注入タンク

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										備考		
					設備数	検査方法	検査範囲	20	21	22	23	24	25	26		27	
C1.20	C-A	胴と上部鏡板との溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%													
C1.20	C-A	胴と下部鏡板との溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%													
C2.21	C-B	管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%													
C3.10	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	溶接継手数の7.5%													
C4.10	C-D	ボルト及び植込みボルト	体積	代表1基の7.5%													
F1.43	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の7.5%													

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(1/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考				
								定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)											
								20	21	22	23	24	25	26	27				
C 3. 20	C-C	配管支持部材取付け溶接継手				-			-	-	-	-	-	-	-	-			
		格納容器再循環ポンプ出口パイプ(C/VX7V4)																	
		SIS高温側低圧注入ライン																	
		SIS低温側低圧注入ライン																	
		余熱除去冷却器出口パイプ																	
		余熱除去ポンプ入口パイプ																	
		充てん/高圧注入ポンプ出口パイプ																	
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン																	
		SIS高温側補助注入ライン																	
		SIS低温側補助注入ライン																	
		SIS補助注入ライン																	
		SIS低温側ほう酸注入ライン																	
		燃料取替用水タンク出口パイプ																	
		主蒸気ライン																	
タービン動機補助給水ポンプ連絡ライン																			
主給水ライン																			
再生熱交換器入口充てんライン																			
タービン動機補助給水ポンプ連絡ライン																			
タービン動機補助給水ポンプ入口パイプ																			
								3箇所	PT		7.5% (1箇所)					1箇所			
								1箇所									1箇所		

クラス2 機器供用期間中検査で管理

表面

7.5%

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(2/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)				川内原子力発電所 第2号機 検査計画 (10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	20	21	22	23	24	25	26	27					
C 5. 11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)																		
		主蒸気逃がしライン			7.5% (1箇所)	6箇所					1箇所									
		タービン動補給水ポンプ連絡ライン			7.5% (2箇所)	18箇所	PT												※2	
		タービン動補給水ポンプ入口ライン			7.5% (3箇所)	27箇所														※2
		タービン動補給水ポンプ出口ライン			7.5% (1箇所)	7箇所										1箇所				
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(C/VX77レイ)		表面	7.5%															
		余熱除去ポンプ入口ライン																		
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(RHR)																		
		主蒸気ライン																		
		タービン動補給水ポンプ連絡ライン																		
配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)																				
SIS高温側低圧注入ライン																				
SIS低温側低圧注入ライン																				
充てん/高圧注入ポンプ出口ライン																				
充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(機器付き配管)																				
SIS低温側ほう酸注入ライン		体積及び表面	7.5%																	
SIS低温側ほう酸注入ライン(機器付き配管)																				
主蒸気ライン																				
主給水ライン																				

クラス2 機器供用期間中検査で管理

クラス2 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(3/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)						備考		
								定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)								
								20	21	22	23	24	25	26	27	
C5.12	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)長手継手			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%												
		配管溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		SIS補助注入ライン														
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン														
		SIS高温側補助注入ライン														
		SIS低温側補助注入ライン														
		SIS低温側ほう酸注入ライン														
		SISほう酸注入ライン/ RCS低温側注入ライン	表面	7.5%												
		再生熱交換器入口充てんライン														
		化学体積制御系統側充てん/高圧注入ポンプ入口連絡ライン														
		化学体積制御系統側充てん/高圧注入ポンプ出口連絡ライン														
		体積制御出口ライン														
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン														
		溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		SIS高温側補助注入ライン														
		SIS低温側補助注入ライン	表面	7.5%												
		SISほう酸注入ライン/ RCS低温側注入ライン														
		配管溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台および母管と枝管との溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		化学体積制御系統側充てん/高圧注入ポンプ入口連絡ライン	表面	7.5%												

クラス2 機器供用期間中検査で管理

クラス2 機器供用期間中検査で管理

クラス2 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(4/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考			
								定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)										
								20	21	22	23	24	25	26	27			
F 1.21	F-A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5% (4箇所)	50箇所 AN 13箇所 RH 37箇所													
		格納容器再循環エント海水放出ライン	VT-3	7.5% (6箇所)	73箇所 AN 2箇所 MS 8箇所 RH 63箇所													
		格納容器再循環エント冷却水供給ライン	VT-3	7.5% (1箇所)	9箇所 AN 2箇所 RH 7箇所													
		格納容器再循環エント冷却水戻りライン	VT-3	7.5% (2箇所)	14箇所 AN 2箇所 RH 12箇所													
		格納容器再循環サブ出口ライン(C/Nサブ)	VT-3	7.5%														
		格納容器サブレイ冷却器出口ライン	VT-3	7.5%														
		格納容器サブレイ冷却器出口ライン	VT-3	7.5%														
		格納容器サブレイ冷却器出口ライン	VT-3	7.5%														
		格納容器サブレイ冷却器出口ライン	VT-3	7.5%														
		常設電動注入ポンプ出口配管	VT-3	7.5%	36箇所 RH 36箇所													
		格納容器サブレイ炉心注入ライン	VT-3	7.5%	4箇所 RH 4箇所													
		格納容器換気空調ダクト	VT-3	7.5%	36箇所 RH 36箇所													
		主蒸気逃がしライン	VT-3	7.5%	4箇所 RH 3箇所 HS 1箇所													
タービン動補助給水ポンプ連絡ライン	VT-3	7.5%	9箇所 RH 6箇所 HS 2箇所 MS 1箇所															
タービン動補助給水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	2箇所 RH 2箇所															
タービン動補助給水ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	23箇所 RH 15箇所 HS 5箇所 MS 1箇所 AN 1箇所 SH 1箇所															

クラス2機器供用期間中検査で管理

※2

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
(8)配管(5/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)						備考			
								定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)									
								20	21	22	23	24	25	26	27		
F 1. 21	F-A	支持構造物				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		SIS補助注入ライン															
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン															
		余熱除去ポンプ 入口ライン															
		余熱除去ポンプ 出口ライン															
		余熱除去冷却器出口ライン															
		SIS高温側低圧注入ライン															
		SIS高温側補助注入ライン															
		SIS低温側補助注入ライン															
		SIS低温側低圧注入ライン															
		SIS低温側ほう酸注入ライン															
		SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン															
		格納容器再循環サブ 出口ライン (NIR)															
		燃料取替用水タンク出口ライン															
		格納容器サブ 炉心注入ライン															
		充てん/高圧注入ポンプ 入口ライン															
		主蒸気ライン															
タービン動補給水ポンプ 連絡ライン																	
主給水ライン																	
格納容器再循環エレクト冷却水入口ライン																	
格納容器再循環エレクト冷却水出口ライン																	
再生熱交換器入口充てんライン																	
充てん/高圧注入ポンプ 入口連絡ライン																	
化学体積制御系統充てん/高圧注入ポンプ 入口連絡ライン																	
化学体積制御系統充てん/高圧注入ポンプ 出口連絡ライン																	
体積制御タンク出口ライン																	
充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン																	

クラス2 機器供用期間中検査で管理

VT-3 7.5%

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(9)弁(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考				
								20	21	22	23	24	25	26		27			
F 1.43	F-A	支持構造物																	
		原子炉補機冷却水ライン				2箇所													
		格納容器換気空調機 ^外 (BS-I-700)				6箇所													
		格納容器換気空調機 ^外 (BS-I-600)				2箇所													
		格納容器換気空調機 ^外 (BS-I-300)				2箇所													
		主蒸気逃がしライン				6箇所													
		ケーブル動補助給水ポンプ ^入 ライン				4箇所													
		格納容器再循環ポンプ ^{出口} ライン(C/VX7レイ) (2V-CF-001A, 001B)				VT-3													
		充てん/高圧注入ポンプ ^{出口} ライン (2V-SI-023A, 023B, 2V-CS-165A, 165B, 166A, 166B)				代表1台の7.5%													
		余熱除去ポンプ ^{入口} ライン (2V-SI-191A, 191B)																	
		余熱除去冷却器 ^{出口} ライン (2-HCV-603, 613)																	
		余熱除去ポンプ ^{出口} ライン (2-FCV-604, 614)																	
余熱除去冷却器 ^{出口} ライン (2V-RH-021A, 021B, 024A, 024B)																			
SIS高温御低圧注入ライン (2V-SI-206)																			
SIS高温御補助注入ライン (2V-SI-082, 101, 301, 303)																			

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(9)弁(2/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)								
								20	21	22	23	24	25	26	27	
F 1. 43	F-A	支持構造物														
		SIS低温側補助注入ライン (2V-SI-094, 302)														
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-197A, 197B)														
		SIS低温側ほう酸注入ライン (2V-SI-042A, 042B)														
		燃料取替用水タンク出口ライン (2-LCV-121D, 121E)														
		充てん/高圧注入ボンプ入 ライン (2V-CS-152A, 152B, 153A, 153B)														
		主蒸気ライン (2V-MS-523A, 523B, 523C)	VT-3	代表1台の 7.5%												
		カービン動補助給水ボンプ連 絡ライン (2V-MS-575A, 575B)														
		格納容器再循環エント冷却 水入ライン (2V-CC-192A)														
		格納容器再循環エント冷却 水出口ライン (2V-CC-199B)														
格納容器グレイ冷却器出口 ライン (2V-CP-024B)																

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
(10)ポンプ(1/2)

余熱除去ポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考			
						検査方法	検査範囲	20	21	22	23	24		25	26	27
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%												
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%												

クラス2機器供用期間中検査で管理

充てん/高圧注入ポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考			
						検査方法	検査範囲	20	21	22	23	24		25	26	27
C3.30	C-C	ケーシングと支持脚との取付け溶接継手	表面	代表1台の 7.5%												
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%												
C6.10	C-G	ケーシングと吸込みフランジとの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%												
		外部ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%												
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%												

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/6)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考	
	カテゴリ	試験対象箇所	検査方法	定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)										
				20	21	22	23	24	25	26	27			
B15.10	B-P	原子炉容器	VT-2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
B15.20	B-P	加圧器	VT-2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
B15.30	B-P	蒸気発生器	VT-2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
B15.60	B-P	一次冷却材ポンプ	VT-2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
B15.70	B-P	クラス1弁	VT-2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
B15.50	B-P	クラス1配管	VT-2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
C7.30	C-H	B充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水供給ライン	VT-2			●								
C7.30	C-H	B充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水戻りライン	VT-2		●									
C7.30	C-H	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2										○	
C7.10	C-H	A充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2										○	
C7.50	C-H	B充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2					●						
C7.30	C-H	C充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2							●				
C7.10	C-H	ほう酸注入/めぐりライン	VT-2							●				
C7.10	C-H	Aほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●									
C7.10	C-H	Bほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●									
C7.10	C-H	Aほう酸ポンプ出口ライン(ほう酸混合器)	VT-2								●			
C7.30	C-H	Bほう酸ポンプ出口ライン	VT-2								●			

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考							
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)														
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26		27						
C7.30	C7.70	C-H	可搬型ポンプ用送水ライン(1)	格納容器再循環サブ入口ライン	VT-2			●											
C7.30	C7.70	C-H	可搬型ポンプ用送水ライン(2)		VT-2			●											
C7.30	C7.70	C-H	#A 格納容器再循環サブ出口ライン	格納容器再循環サブ出口ライン	VT-2				●										
C7.30	C7.70	C-H	#B 格納容器再循環サブ出口ライン		VT-2				●										
C7.30	C7.70	C-H	格納容器Aサブレイポンプ入口ライン	格納容器Aサブレイポンプ入口ライン	VT-2			●											
C7.30	C7.70	C-H	格納容器Bサブレイポンプ入口ライン		VT-2			●											
C7.10	C7.30	C-H	格納容器Aサブレイポンプ出口ライン	格納容器Aサブレイポンプ出口ライン	VT-2								●						
C7.50	C7.70	C-H	格納容器Bサブレイポンプ出口ライン		VT-2								●						
C7.10	C7.30	C-H	A蒸気発生器蒸気出口ライン	主蒸気及び再熱蒸気系統、再熱蒸気トリプ系統	VT-2								●						
C7.10	C7.30	C-H	B蒸気発生器蒸気出口ライン		VT-2										○				
C7.10	C7.30	C-H	C蒸気発生器蒸気出口ライン		VT-2												○		
C7.30	C7.70	C-H	A蒸気発生器給水入口ライン	給水系統	VT-2							●							
C7.30	C7.70	C-H	B蒸気発生器給水入口ライン		VT-2								●						
C7.30	C7.70	C-H	C蒸気発生器給水入口ライン		VT-2								●						

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(5/6)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)								備考						
		試験対象箇所	ライン名称	検査方法														
		系統名	定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)															
C7.10 C7.70	C-H	補助給水 系統	補助給水ポンプ入口ライン	VT-2														
C7.30 C7.70	C-H		A 電動補助給水ポンプ出口ライン	VT-2							●							
C7.30 C7.70	C-H		B 電動補助給水ポンプ出口ライン	VT-2									●					
C7.30 C7.70	C-H		タービン動補助給水ポンプ出口ライン	VT-2										○				
C7.30 C7.70	C-H	制御用空 気系統	A 事故後サンプリング設備弁用制御用空 気ライン	VT-2							●							
C7.30 C7.70	C-H		A 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	VT-2								●						
C7.30 C7.70	C-H		B 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	VT-2									●					
C7.30 C7.70	C-H		アニユラス出口弁用制御用空気ライン	VT-2										●				
C7.30 C7.70	C-H	制御用空 気系統	アニユラスよう素フィルタ出入口弁用制 御用空気ライン	VT-2										●				
C7.30 C7.70	C-H		アニユラス全量排気弁用制御用空気ライ ン	VT-2											●			
C7.30 C7.70	C-H		制御用空気Aヘッダーライン	VT-2											●			
C7.30 C7.70	C-H		制御用空気Bヘッダーライン	VT-2												●		
C7.30 C7.70	C-H	ディーゼル 発電機始動 空気ライン	# A, # B 制御用空気圧縮機出口ライン	VT-2												○		
C7.10	C-H		# A ディーゼル発電機始動空気ライン	VT-2												●		
C7.10	C-H	# B ディーゼル発電機始動空気ライン	VT-2													●		

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査SN2-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(6/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)							備考	
			系統名	ライン名称	定期事業者検査の回数(起点となる回数:20回)								
					20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.30	C7.70	C-H	換気空調システム	アニュラス空気浄化ライン									○
C7.30		C-H		中央制御室換気空調ライン				●	●	●			
C7.10	C7.30	C-H	1次系サブリングシステム	事故後サブリングライン					●				

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (12)クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)	備考		
-	-	配管の円周方向溶接部	体積	25%			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン						
		再生熱交換器連絡管						
		充てんライン連絡管						

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (13)クラスMC 格納容器供用期間中検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							備考				
					設備数	検査方法	検査範囲	定期事業者検査の回数 (起点となる回数：20回)								
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	56箇所	VT-4	100% (56箇所)	20	21	22	23	24	25	26	27	

6. 重大事故等クワース3機器漏えい検査 SN2-228(保全重要度:高)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※)		川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考					
項目番号	カテゴリ	施設名	試験対象箇所	機器名	検査方法	設備数	検査の年度 (起点となる年度: 2015)										
							2015	2016	2017	2018	2019		2020	2021	2022	2023	2024
D2.10	D-B	原子炉冷却系統施設		窒素ポンプベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)	VT-2	2		●									
D2.30	D-B				窒素ポンプベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用 4mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2				●						
D2.10	D-B	計測制御系統施設		窒素ポンプベ(加圧器逃がし弁用)	VT-2	6					●						
D2.10	D-B				窒素ポンプベ(アニュオス空気浄化ファン弁用)	VT-2	6							●			
D2.10	D-B			窒素ポンプベ(事故後サンプリング設備弁用)	VT-2	2											○
D2.30	D-B				窒素ポンプベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用3mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3										

※第25保全サイクル以降は維持規格(JSME S NAI-2012/2013,2014追補含む)を適用

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等)参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1) のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月（定期事業者検査終了からの期間）以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・構造健全性検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シンプルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査

○また、第27サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形 跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持 規格」(JSME S NA1-2012/2013追 補/2014追補)に規定されている超音波探傷試験、 渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等によって、 機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定***、 校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認 する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後、定格出力近傍で原子力発電所の 運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常であ ること及び各種パラメータが妥当な値であることを確 認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経年・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容(添付書類二、三、四)からの
変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

なし

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－1のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更(一定の期間を含む)

なし

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	設計基準事故対処設備等 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 2V-SF-059 2号 SFP DW供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(2/133)
2	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2V-BD-001A 2A S/Gブローダウン第一隔離弁(外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(6/133)
3	2V-BD-001B 2B S/Gブローダウン第一隔離弁(外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(6/133)
4	2V-BD-001C 2C S/Gブローダウン第一隔離弁(外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(6/133)
5	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 2V-SI-191A 2A 余熱除去ポンプ供給弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(19/133)
6	2V-SI-191B 2B 余熱除去ポンプ供給弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(19/133)
7	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2-PCV-104 2号 抽出ライン圧力調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(26/133)
8	2-TCV-104 2号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(26/133)
9	2V-CS-165A 2A, 2B CH/SIポンプ出口ヘッダ第1弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(28/133)
10	2V-CS-165B 2B, 2C CH/SIポンプ出口ヘッダ第1弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(28/133)
11	2V-CS-166A 2A, 2B CH/SIポンプ出口ヘッダ第2弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(28/133)
12	2V-CS-166B 2B, 2C CH/SIポンプ出口ヘッダ第2弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(28/133)
13	2V-CS-227 2号 Cループ充てん弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(29/133)
14	2V-CS-321 2号 封水冷却器管側入口逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(30/133)
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、漏えい試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	(30/133)
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能・性能試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	(30/133)

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
15	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2V-CS-090 2号 体積制御タンク入口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(31/133)
16	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 2V-CC-482 2号 CRDM冷却水入口弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(34/133)
17	2V-CC-544 2号 RCP冷却水第1出口弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(35/133)
18	2V-CC-546 2号 RCP冷却水第2出口弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(35/133)
19	2-PCV-1202 2号 補機冷却水サージタンクN2供給圧力制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(35/133)
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(35/133)
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能・性能試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	(35/133)
20	計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備) ほう酸フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「65M」から「78M」に変更した。	(49/133)
21	2V-CS-519 2号 急速ほう酸補給弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(51/133)
22	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(52/133)
23	2B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(52/133)
24	2V-IA-508A 2A IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(53/133)
25	2V-IA-508B 2B IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(53/133)
26	2V-IA-501A 2号 IASヘッダ連絡管2Aヘッダ隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(54/133)
27	2V-IA-501B 2号 IASヘッダ連絡管2Bヘッダ隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(54/133)
28	計測制御系統施設 (その他設備) AM設備制御盤 1式	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、特性試験の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(57/133)
29	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2A ガス圧縮装置気水分離器	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(61/133)

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
30	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 B ガス圧縮装置気水分離器	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(61/133)
31	2V-WL-086 2号 A B D T 逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(67/133)
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、漏えい試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	(67/133)
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能・性能試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	(67/133)
32	2V-WL-212 2 A ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(68/133)
33	2V-WL-556 2 B ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(68/133)
34	2V-BE-028 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(70/133)
35	2V-BE-037 窒素供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(70/133)
36	2V-WE-127 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(70/133)
37	2V-WE-137 窒素供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(70/133)
38	2V-WE-222 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(71/133)
39	2V-WE-235 窒素供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(71/133)
40	2V-WS-054 2号 S R S T 窒素供給逆止弁	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	(72/133)
41	放射線管理施設 (換気設備) 2V-VS-104A 2 A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタ ユニットバイパス弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(77/133)

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
42	放射線管理施設 (換気設備) 2V-VS-104B 2 B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタ ユニットバイパス弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(77/133)
43	2 A 中央制御室空調ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(80/133)
44	2 B 中央制御室空調ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(80/133)
45	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 2V-CP-001A 2 A スプレイポンプ供給弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(89/133)
46	2V-CP-001B 2 B スプレイポンプ供給弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(89/133)
47	2V-SS-561 2号 B ループ高温側サンプル弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(92/133)
48	2V-SS-564 2号 C ループ高温側サンプル弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(93/133)
49	2V-VS-105A 2 A アニュラス全量排気弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(98/133)
50	2V-VS-105B 2 B アニュラス全量排気弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(98/133)
51	2V-VS-106A 2 A アニュラス少量排気弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(98/133)
52	2V-VS-106B 2 B アニュラス少量排気弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(98/133)
53	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 2 A 湿分分離器	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検(目視)の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(107/133)
54	2 B 湿分分離器	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検(目視)の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(107/133)
55	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 2 A タービン動主給水ポンプ (簡易点検)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、簡易点検(ストレーナ清掃他)の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(110/133)
56	2 B タービン動主給水ポンプ (簡易点検)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、簡易点検(ストレーナ清掃他)の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(110/133)
57	2V-FW-557A 2号 M/D AFWP出口A流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(116/133)

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
58	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 2V-FW-557B 2号 M/D AFWP出口B流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(116/133)
59	2V-FW-557C 2号 M/D AFWP出口C流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	(116/133)
60	スチームコンバータ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(118/133)
61	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) 2 A 潤滑油逆洗こし器	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(122/133)
62	2 B 潤滑油逆洗こし器	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(122/133)
63	2 A 潤滑油主こし器 (4基)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(122/133)
64	2 B 潤滑油主こし器 (4基)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(122/133)
65	2 A 燃料油第1こし器 (2基)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(123/133)
66	2 B 燃料油第1こし器 (2基)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(123/133)
67	2 A 燃料油第2こし器 (2基)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(123/133)
68	2 B 燃料油第2こし器 (2基)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(123/133)
69	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 6. 6 kV 4-2 C母線	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、精密点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(126/133)
70	6. 6 kV 4-2 D母線	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、精密点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(126/133)
71	4 4 0 V 3-2 C母線	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、精密点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(127/133)
72	4 4 0 V 3-2 D母線	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、精密点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	(127/133)

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	重大事故等対処設備 計測制御系統施設 (計測装置) 重大事故等対処用入出力盤 1式	当該点検の実施内容はソフトウェアのバージョン確認、外観確認等であり、過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、特性試験の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(2/7)
2	重大事故等対処用制御盤	当該点検の実施内容はソフトウェアのバージョン確認、外観確認等であり、過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、特性試験の点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	(2/7)
3	非常用電源設備 大容量空冷式発電機用給油ポンプ	軸受ベアリングに発錆が確認されたことを考慮し、分解点検の点検頻度を「130M」から「52M」に変更した。	(6/7)

3. 特定重大事故等対処施設

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
2		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
3		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
4		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
5		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
6		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
7		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
8		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
9		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
10		耐震健全性検査の検査量平坦化の観点より、検査対象範囲の区分を明確化したことから、今回の点検計画に反映した。	(9/12)
11		当該点検の実施内容は外観の確認であることから、点検及び試験の項目を「普通点検」から「外観点検」に、点検頻度を「13M」から「1C」に見直した。	(9/12)
12		当該点検の実施内容は外観の確認であることから、点検及び試験の項目を「普通点検」から「外観点検」に、点検頻度を「13M」から「1C」に見直した。	(10/12)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピット浄化・冷却設備	機能・性能試験	高	1C	SN2-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット他含む
	2 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	2 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	2 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	2 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	2 C 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	2 C 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	2号 使用済燃料ピットスキマポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	2号 使用済燃料ピットスキマポンプ用電動機	分解点検	低	2Y		プラント運転中
	使用済燃料ピット水タンクポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	使用済燃料ピット水タンクポンプ用電動機	分解点検	低	10Y		プラント運転中
	2 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中
	2 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中
	2 C 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中
	2 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	2 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	2号 使用済燃料ピットスキマフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	使用済燃料ピット水タンクフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	使用済燃料ピット水タンク	開放点検	低	10Y		プラント運転中
2 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C			
2 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C			
使用済燃料ピット水タンク脱塩塔	外観点検	低	1C			
2V-SF-059 2号 S F P DW供給逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2V-RC-088 2号 加圧器逃がしタンク室素逆止弁	加圧器ヒータ 1式	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
		一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C		
2V-BD-001A 2 A S/Gブローダウン第1隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-001B 2 B S/Gブローダウン第1隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-001C 2 C S/Gブローダウン第1隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-016A 2 A S/Gサンプル隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-016B 2 B S/Gサンプル隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-016C 2 C S/Gサンプル隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-033 2号 S/Gブローダウン放射線計出口逃がし弁		取替	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-BD-045 2号 S/Gブローダウンタンク廃棄物処理系入口逆止弁		分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
2V-BD-003A 2 A S/Gブローダウン第2隔離弁		駆動部点検	高	65M		
		分解点検		130M		
2V-BD-003B 2 B S/Gブローダウン第2隔離弁		駆動部点検	高	65M		
		分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-SI-301 2号高温側高压補助注入弁（ほう酸注入タンク側）前弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
		電動機分解点検		130M		
	2V-SI-302 2号低温側高压補助注入弁（外隔離弁）前弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
		電動機分解点検		130M		
	2V-SI-303 2号高温側高压補助注入弁（外隔離弁）前弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
		電動機分解点検		130M		
	2V-SI-191A 2 A 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SI-191B 2 B 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SI-193A 2 A R I H S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SI-193B 2 B R I H S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SI-197A 2 A 低温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	2V-SI-197B 2 B 低温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
電動機分解点検		130M				
2V-SI-206 2号 高温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
2V-SI-132A 2 A 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		143M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	2-LCV-121E 2号 C11/S1ポンプA非常用補給弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M			
	2-LCV-451 2号 加圧器水位第1制御弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		39M	SN2-85	1次系弁検査	
		機能・性能試験		3C			
	2-LCV-452 2号 加圧器水位第2制御弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		39M	SN2-85	1次系弁検査	
		機能・性能試験		3C			
	2-PCV-104 2号 抽出ライン圧力調節弁	駆動部点検	高	65M			
		分解点検		13M	SN2-85	1次系弁検査	
		機能・性能試験		1C			
	2-TCV-104 2号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁	簡易点検 (ハンドルバッキン取替)	高	65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M	SN2-85	1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C			
	2V-CS-043A 2 A 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN2-85	1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C			
	2V-CS-043B 2 B 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN2-85	1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C			
	2V-CS-048A 2 A 冷却材混床式脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN2-85	1次系弁検査	
機能・性能試験		10C					
2V-CS-048B 2 B 冷却材混床式脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M	SN2-85	1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C				
2V-CS-052 2号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M	SN2-85	1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-CS-161C 2 C C H / S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CS-162 2号 C H / S I ポンプミニマムフロー元弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CS-165A 2 A, 2 B C H / S I ポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CS-165B 2 B, 2 C C H / S I ポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CS-166A 2 A, 2 B C H / S I ポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CS-166B 2 B, 2 C C H / S I ポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CS-213 2号 充てん流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-CS-218 2号 充てんライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-CS-225 2号 加圧器補助スプレイ弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M		
		分解点検		65M		
		機能・性能試験		5C		
	2V-CS-226 2号 加圧器補助スプレイ逆止弁	分解点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
	2V-CS-227 2号 Cループ充てん弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		65M		
		機能・性能試験		5C		
	2V-CS-228 2号 Cループ充てん第1逆止弁	分解点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
	2V-CS-229 2号 Cループ充てん第2逆止弁	分解点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
	2V-CS-301 2号 余剰抽出第1隔離弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	SN2-85 1次系弁検査	
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		52M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-CS-302 2号 余剰抽出第2隔離弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	SN2-85 1次系弁検査	
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		52M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-CS-305 2号 余剰抽出ライン3方弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-CS-352A 2 A ほう酸除去脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-CS-352B 2 B ほう酸除去脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2V-CS-359A 2 A ほう酸除去脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-359B 2 B ほう酸除去脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-005 2号 抽出オリフイス出口逃がし弁		分解点検	高	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-024 2号 抽出ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-121 2号 体積制御タンク安全弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-170A 2 A C H / S 1 ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-170B 2 B C H / S 1 ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-283 2号 R C P パージ水ヘッドタンク逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-306 2号 R C P 封水戻りライン逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-321 2号 封水冷却器管側入口逃がし弁		分解点検	低	143M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		11C		
		機能・性能試験		11C		
2V-CS-127 2号 体積制御タンクガス供給逆止弁		分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
2D-CS-121 2号 体積制御タンク安全弁前破板		分解点検	低	130M	SN2-89 1次系破板検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-CS-041 2号 冷却材混床式脱塩塔入口逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-090 2号 体積制御タンク入口逆止弁	分解点検	高	143M		
	2V-CS-151 2号 体積制御タンク出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-160A 2 A C H / S 1 ポンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-160B 2 B C H / S 1 ポンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-160C 2 C C H / S 1 ポンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-163A 2 A C H / S 1 ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-163B 2 B C H / S 1 ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-163C 2 C C H / S 1 ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-221 2号 充てんライン逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-CS-232 2号 C ループ充てんラインバイパス逆止弁	分解点検	高	65M		
	2V-CS-251 2号 R C P 封水注入流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-CS-290A 2 A R C P N o . 1 シール出口弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		104M		
	2V-CS-290B 2 B R C P N o . 1 シール出口弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		104M		
	2V-CS-290C 2 C R C P N o . 1 シール出口弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		104M		
	2V-CS-300 2号 R C P N o . 1 シールバイパス弁	駆動部点検	高	65M		
		分解点検		130M		
	2V-CS-774 2号 C H / S 1 ポンプ入口ペントライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-CC-199A 2 A C/V 再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CC-199B 2 B C/V 再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CC-199C 2 C C/V 再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CC-199D 2 D C/V 再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CC-482 2号 C R D M冷却水入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CC-489A 2号 C R D M冷却水A出口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
2V-CC-489B 2号 C R D M冷却水B出口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-CC-503 2号 余剰抽出冷却器冷却水第2入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CC-509 2号 余剰抽出冷却器冷却水第1出口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CC-521 2号 R C P冷却水第1入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CC-523 2号 R C P冷却水第2入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M		
	2V-CC-544 2号 R C P冷却水第1出口弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		143M		
	2V-CC-546 2号 R C P冷却水第2出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		143M		
	2V-CC-706 2号 冷却材ドレン冷却器冷却水隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
	2-PCV-1202 2号 補機冷却水サージタンクN2供給压力制御弁	駆動部点検	低	143M		
		分解点検		143M	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		11C		
	2-RCV-056 2号 補機冷却水サージタンクベント弁	駆動部点検	低	130M		
分解点検		130M		SN2-85 1次系弁検査		
機能・性能試験		10C				
2-TCV-103 2号 非再生冷却器冷却水流量制御弁	駆動部点検	低	52M			
	分解点検		130M	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	2 A ほう酸ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	SN2-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	SN2-56 ほう酸ポンプ機能検査	
	2 A ほう酸ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
	2 B ほう酸ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	SN2-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	SN2-56 ほう酸ポンプ機能検査	
	2 B ほう酸ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
	2 A ほう酸タンク	開放点検	高	130M		
	2 A 1 ほう酸タンクヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	2 A 2 ほう酸タンクヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	2 B ほう酸タンク	開放点検	高	130M		
	2 B 1 ほう酸タンクヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	2 B 2 ほう酸タンクヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	2号 ほう酸補給タンク	開放点検	低	10V		プラント運転中
	ほう酸フィルタ	開放点検	高	78M		
	2-FCV-220A 2号 ほう酸補給水流量制御弁	駆動部点検	低	130M		SN2-85 1次系弁検査
		分解点検		130M		
機能・性能試験		10C				
2-FCV-220B 2号 体積制御タンク出口補給水弁	駆動部点検	低	130M		SN2-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
2-FCV-223A 2号 原子炉補給水流量制御弁	駆動部点検	高	130M		SN2-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
2-FCV-223B 2号 体積制御タンク入口補給弁	駆動部点検	低	130M		SN2-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2V-CS-519 2号 急速ほう酸補給弁		駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
2V-CS-488 2号 ほう酸補給タンク補助蒸気安全弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-569A 2 A 冷却材貯蔵タンク逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-569B 2 B 冷却材貯蔵タンク逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-569C 2 C 冷却材貯蔵タンク逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-CS-496 2号 ほう酸補給タンク出口逆止弁		分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
		開放点検		低		
2 A 1次系補給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
2 A 1次系補給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
2 B 1次系補給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
2 B 1次系補給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
2PMT-2V-1 2号 1次系純水タンクバキュームリリーフ弁		分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
2PMT-2V-3 2号 1次系純水タンクアトモス弁		分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
2V-PM-553 2号 1次系純水タンク補給水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-PM-558 2号 1次系純水タンクバイパス補給水逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-DW-508 2号 A/B内2次系純水切替逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用バックアップ弁 1台 3. IASヘッダ連絡管ヘッダ隔離弁 2台 4. IAS格納容器隔離弁 2台	機能・性能試験	高	1C	SN2-32 制御用空気圧縮系機能検査	
	2A 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	13M 26M		(振動診断:切替毎)
	2A 制御用空気圧縮機用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 39M		(振動診断:切替毎)
	2B 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	13M 26M		(振動診断:切替毎)
	2B 制御用空気圧縮機用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 39M		(振動診断:切替毎)
	2A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M		
	2B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M		
	2A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	26M		
	2B 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	26M		
	2A 制御用空気だめ	開放点検	高	91M		
	2B 制御用空気だめ	開放点検	高	91M		
	2A1 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2A2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2B1 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2B2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	13M 52M		
	2A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	65M		
	2B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	13M 52M		
	2B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	65M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2 A 制御用空気ドレンセパレータ	開放点検	高	13M		
	2 B 制御用空気ドレンセパレータ	開放点検	高	13M		
	2V-IA-508A 2 A I A S 格納容器隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
	2V-IA-508B 2 B I A S 格納容器隔離弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
	2V-IA-212A 2 A インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-IA-212B 2 B インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-IA-217A 2 A ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-IA-217B 2 B ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-IA-221A 2 A 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-IA-221B 2 B 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2IAC-RV-1A 2 A 制御用空気除湿装置送風機出口逃がし弁	取替	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2IAC-RV-1B 2 B 制御用空気除湿装置送風機出口逃がし弁		取替	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-1A-501A 2号 IASヘッダ連絡管2Aヘッダ隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
2V-1A-501B 2号 IASヘッダ連絡管2Bヘッダ隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
2V-1A-505A 2A IAS主蒸気逃がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
2V-1A-505B 2B IAS主蒸気逃がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
2V-1A-510A 2A IAS格納容器隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
2V-1A-510B 2B IAS格納容器隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
2V-1A-824 事故後サンプリングライン隔離弁用制御用空気供給ライン安全弁		取替	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2IAC-2CV-1A 2A 制御用空気除湿装置2A1吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M		
2IAC-2CV-1B 2B 制御用空気除湿装置2B1吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M		
2IAC-2CV-2A 2A 制御用空気除湿装置2A2吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M		
2IAC-2CV-2B 2B 制御用空気除湿装置2B2吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	中央制御室退避時換気空調盤 1式	機能・性能試験	高	1C		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	26M		
	安全系A系ヒートトレース設備 1式	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	2F		プラント運転中
	安全系B系ヒートトレース設備 1式	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	2F		プラント運転中
	炉外核計装盤 1式	特性試験	高	13M		
	6.6kV非常用母線電圧保護継電器 1式	特性試験	高	13M		
	RCP母線計測盤 1式	特性試験	高	13M		
	主盤 1式	外観点検	高	1C		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	1C		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	1C		
	所内盤 1式	外観点検	高	1C		
	空調用冷凍機制御盤 1式	特性試験	高	13M		
	換気空調系集中現場盤 1式	機能・性能試験	高	1C		
	その他設備 1式	特性試験	高	13M		
	運転指令設備(ベージング装置) (1,2号機共用)	外観点検	低	1C		
	緊急時運転パラメータ伝送システム(SPDS) (1,2号機共用)	機能・性能試験	高	1C		
計測制御系統施設 (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置)	中央制御室外原子炉停止盤機器制御回路 3回路	機能・性能試験	高	1C	SN2-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	屋外ITV監視装置(1,2号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	ガス圧縮機 2台	機能・性能試験	高	1C	SN2-42 気体廃棄物処理系機能検査	
	2A ガス減衰タンク	開放点検	高	10V		プラント運転中
	2B ガス減衰タンク	開放点検	高	10V		プラント運転中
	2C ガス減衰タンク	開放点検	高	10V		プラント運転中
	2D ガス減衰タンク	開放点検	高	10V		プラント運転中
	2E ガス減衰タンク	外観点検	高	1C		
	2F ガス減衰タンク	外観点検	高	1C		
	2G ガス減衰タンク	外観点検	高	1C		
	2H ガス減衰タンク	外観点検	高	1C		
	2V-WG-031 2号 ガス減衰タンク窒素パージ逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WG-333 2号 冷却材貯蔵タンク窒素供給圧力調整弁後逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WG-018A 2A ガス減衰タンク放出弁	駆動部点検	高	10V		プラント運転中
		分解点検		10V	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2-PCV-1174A 2 F ガス減衰タンク圧力調節弁		駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
2-PCV-1174B 2 F ガス減衰タンクサンプリング弁		駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
2-PCV-1175A 2 G ガス減衰タンク圧力調節弁		駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
2-PCV-1175B 2 G ガス減衰タンクサンプリング弁		駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
2-PCV-1176A 2 I1 ガス減衰タンク圧力調節弁		駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
2-PCV-1176B 2 I1 ガス減衰タンクサンプリング弁		駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
2 A ガス圧縮機		簡易点検（油入替他）	低	13M		
		分解点検		52M		
2 A ガス圧縮機用電動機		分解点検	低	78M		
2 B ガス圧縮機		簡易点検（油入替他）	低	13M		
		分解点検		52M		
2 B ガス圧縮機用電動機		分解点検	低	78M		
2 A ガス圧縮装置封水循環ポンプ		分解点検	低	65M		
2 B ガス圧縮装置封水循環ポンプ		分解点検	低	65M		
2 A ガス圧縮装置気水分離器		開放点検	低	26M		
2 B ガス圧縮装置気水分離器		開放点検	低	26M		
2 A ガス圧縮装置封水冷却器		開放点検	低	78M		
2 B ガス圧縮装置封水冷却器		開放点検	低	78M		
2Y-GC-007A 2 A ガス圧縮装置気水分離器安全弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2Y-GC-007B 2 B ガス圧縮装置気水分離器安全弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2V-WL-019 2号 C/V冷却材ドレン冷却器出口第2隔離弁		駆動部点検	高	52M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
2V-WL-055 2号 CVD TGAライン第1隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
2V-WL-056 2号 CVD TGAライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
2V-WL-060 2号 CVD Tベントライン第1隔離弁		駆動部点検	高	65M		
		分解点検		130M		
2V-WL-061 2号 CVD Tベントライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
2V-WL-070 2号 CVD T窒素供給隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
2V-WL-354 2号 C/Vサンプポンプ出口ライン第1隔離弁		駆動部点検	高	65M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
2V-WL-355 2号 C/Vサンプポンプ出口ライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
2-FCV-1034 2号 廃棄物処理設備排水モニタ出口流量制御弁		駆動部点検	低	10V	SN2-85 1次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10V		
		機能・性能試験		10F		
2-RCV-0035 2号 廃棄物処理設備排水モニタ出口隔離弁		駆動部点検	低	10V	SN2-85 1次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10V		
		機能・性能試験		10F		
2V-WL-044 2号 CVD T逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-WL-049 2号 C/V冷却材ドレンポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
2V-WL-086 2号 ABD T逃がし弁		分解点検	低	143M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		11C		
		機能・性能試験		11C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-WL-220 2 A ドラム詰バッチタンク安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-WL-564 2 B ドラム詰バッチタンク安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	2V-WLT902A 2 A 廃液蒸留水モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WLT902B 2 B 廃液蒸留水モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WLT907A 2 A 廃液蒸留水モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WLT907B 2 B 廃液蒸留水モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WL-067 2号 C V D T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WL-084 2号 A B D T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WL-212 2 A ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-WL-556 2 B ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2 A ほう酸回収装置給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
	2 A ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中
分解点検		4Y				
2 B ほう酸回収装置給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		6Y			
	機能・性能試験		6F			
2 B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中	
	分解点検		4Y			
2号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M			
	分解点検		78M			
2号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ用電動機	分解点検	低	52M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B ほう酸蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C		
	2V-CST302A 2 A モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-CST302B 2 B モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-CST307A 2 A モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-CST307B 2 B モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	ほう酸回収装置 1基	機能・性能試験	低	1C	SN2-65 液体廃棄物処理系機能検査	
	2号 ほう酸回収装置 1式	分解・開放点検	低	3Y~10Y		プラント運転中
	2V-BE-035 2号 ほう酸回収装置ほう酸蒸発器コンデンサ安全弁	分解点検	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F		
	2V-BE-028 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-BE-037 窒素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	廃液蒸発装置 2基	機能・性能試験	低	1C	SN2-65 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中又は定検停止中
	2 A 廃液蒸発装置 1式	分解・開放点検	低	39M~130M		
	2 B 廃液蒸発装置 1式	分解・開放点検	低	39M~130M		
	2号 廃液蒸発装置中和剤注入装置 1式	分解・開放点検	低	10Y		プラント運転中
	2号 廃液蒸発装置消泡剤注入装置 1式	分解・開放点検	低	10Y		プラント運転中
	2V-WE-135 2 A 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁	分解点検	低	130M		プラント運転中
		漏えい試験		10C	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
	2V-WE-174 か性ソダ注入ポンプ逃がし弁	取替	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F		
	2V-WE-233 2 B 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁	分解点検	低	130M		プラント運転中
		漏えい試験		10C	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
	2V-WE-274 消泡剤注入ポンプ逃がし弁	取替	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F		
	2V-WE-127 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-WE-137 窒素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-WE-175 か性ソーダ注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-WE-222 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-WE-235 窒素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-WE-275 消泡剤注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2 A 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 B 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 C 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 D 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 E 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 F 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 G 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 H 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2 J 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C		
	2V-WS-074A 2 A S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074B 2 B S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074C 2 C S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074D 2 D S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074E 2 E S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074F 2 F S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2V-WS-074G 2 G S R S T安全弁		分解点検	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
2V-WS-074H 2 H S R S T安全弁		分解点検	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
2V-WS-074J 2 J S R S T安全弁		分解点検	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
2V-WS-054 2号 S R S T窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
雑固体焼却設備 1基		機能・性能試験	低	1F	SN2-67 固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	定検停止中又はプラント運転中
雑固体焼却設備 1式		分解・開放点検	低	1Y~10Y		定検停止中又はプラント運転中
ZNP-006 雑固体焼却炉設備冷水膨張タンク真空破壊弁		取替	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	定検停止中又はプラント運転中
ZCA-007 予熱器出口逃がし弁		分解点検	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
ZIE-008 焼却炉逃がし弁		分解点検	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
ZPG-002 プロパンポンペ安全弁		取替	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
ZNP-010 窒素供給ライン安全弁		取替	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
ZNP-005 冷水膨張タンク安全弁		分解点検	低	10Y	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	事故後サンプリングエリア給気ユニット	開放点検	低	1Y		プラント運転中
	事故後サンプリングエリア排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
	2D-VS-365 2号 格納容器排気筒放出第1ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-366 2号 格納容器排気筒放出第2ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	2V-VS-104A 2 A アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニットバイパス弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
	2V-VS-104B 2 B アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニットバイパス弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
	2V-DP-005A 2 A C/V圧力逃がし装置ドレンライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-DP-005B 2 B C/V圧力逃がし装置ドレンライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	補助建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	2 A 補助建屋給気ファン	簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		5Y		
	2 A 補助建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	2 B 補助建屋給気ファン	簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		5Y		
	2 B 補助建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	2 A 補助建屋排気ファン	簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		5Y		
	2 A 補助建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2D-VS-534A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-534B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-535A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-535B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2F-VS-P106F 2号 原子炉コントロールセンター室（C）出口排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P111F 2号 原子炉コントロールセンター室（C）入口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P151F 2 B 安全補機開閉器室入口排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P195F 2 B 安全補機開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P237F 2 A 安全補機開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P281F 2 A 安全補機開閉器室入口排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P8F 2 B インバータ室出口排気第2防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P40F 2号 C R D M開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P57F 2 A インバータ室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P69F 2号 C R D M開閉器室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	2F-VS-P76R-1 2 A インバータ室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	中央制御室	漏えい試験	高	6F	SN2-214 中央制御室の居住性確認検査	
	中央制御室空調装置	機能・性能試験	高	1C	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	2 A 中央制御室空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M 52M		(振動診断：切替毎)
	2 A 中央制御室空調ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 65M		(振動診断：切替毎)
	2 B 中央制御室空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M 52M		(振動診断：切替毎)
	2 B 中央制御室空調ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 65M		(振動診断：切替毎)
	2 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M		
	2 A 中央制御室循環ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		普通点検		52M		
		分解点検		91M		
	2 B 格納容器スプレイポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		130M		
	2 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		普通点検		52M		
		分解点検		91M		
	2 A 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M		
	2 B 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M		
	2号 よう素除去薬品タンク	開放点検	高	130M		
	2CPT1-V-4A よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2CPT1-V-4B よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2V-CP-001A 2 A スプレイポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CP-001B 2 B スプレイポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
2V-CP-003A 2 A C S S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機簡易点検		2C			
	電動機分解点検		130M			
2V-CP-003B 2 B C S S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機簡易点検		2C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-SS-504 2号 加圧器蒸気部サンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-518 2号 加圧器液相部サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-519 2号 加圧器液相部サンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-534 2号 Cループ高温側サンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-553A 2 A 蓄圧タンクサンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-553B 2 B 蓄圧タンクサンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-553C 2 C 蓄圧タンクサンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-554 2号 蓄圧タンクサンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
2V-SS-561 2号 Bループ高温側サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		143M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-SS-564 2号 Cループ高温側サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SS-661A 2A 自動遠隔試料採取装置C/V戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-661B 2B 自動遠隔試料採取装置C/V戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-675A 2A C/V雰囲気サンプル取出弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SS-675B 2B C/V雰囲気サンプル取出弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-SS-676A 2A C/V雰囲気サンプル取出弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-676B 2B C/V雰囲気サンプル取出弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-679A 2A C/V雰囲気サンプル戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-SS-679B 2B C/V雰囲気サンプル戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
2V-VS-105A 2 A アンユラス全量排気弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		65M			SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査
2V-VS-105B 2 B アンユラス全量排気弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		65M			SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査
2V-VS-106A 2 A アンユラス少量排気弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		65M			SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査
2V-VS-106B 2 B アンユラス少量排気弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		65M			SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査
2-PCV-2334 2 A アンユラス戻り弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		39M			
2-PCV-2344 2 B アンユラス戻り弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		39M			
2V-DP-001A 2 A C/V圧力逃がし装置第1隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M			
2V-DP-001B 2 B C/V圧力逃がし装置第1隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M			
2V-DP-003A 2 A C/V圧力逃がし装置第2隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
2V-DP-003B 2 B C/V圧力逃がし装置第2隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
2 A 安全補機室排気ファン		分解点検	高	65M			
2 A 安全補機室排気ファン用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)	
		分解点検		65M			
2 B 安全補機室排気ファン		分解点検	高	65M			
2 B 安全補機室排気ファン用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)	
		分解点検		65M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	F 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M		
	A 復水器ホットウェル	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	B 復水器ホットウェル	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	C 復水器ホットウェル	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器)	2 A 第1段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 B 第1段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 C 第1段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 D 第1段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 A 第2段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 B 第2段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 C 第2段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 D 第2段 湿分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M		
	2 A 湿分離器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	2 B 湿分離器	開放点検（目視）	低	26M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	2 A 低圧第1 給水加熱器	開放点検（目視）	低	39M	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M		
2 B 低圧第1 給水加熱器	開放点検（目視）	低	39M	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検（非破壊）		78M			
2 C 低圧第1 給水加熱器	開放点検（目視）	低	39M	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検（非破壊）		78M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
2 B 復水器真空ポンプ		簡易点検（パッドパッキン取替他）	低	13M		(振動診断：切替毎)	
		分解点検		39M			
		機能・性能試験		3C			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査
2 B 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)	
2 C 復水器真空ポンプ		簡易点検（パッドパッキン取替他）	低	13M		(振動診断：切替毎)	
		分解点検		39M			
		機能・性能試験		3C			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査
2 C 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)	
A 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査		
B 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査		
C 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査		
D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査		
E 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査		
2号 復水フィルタ		開放点検	低	195M			
2号 電動主給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		39M			
		機能・性能試験		3C			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査
2号 電動主給水ポンプ用電動機		分解点検	低	52M		(振動診断：1ヶ月)	
2 A タービン動主給水ポンプ		簡易点検（ストレーナ清掃他）	低	26M		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		26M			
		機能・性能試験		2C			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査
2 B タービン動主給水ポンプ		簡易点検（ストレーナ清掃他）	低	26M		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		26M			
		機能・性能試験		2C			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査
2 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検（油入替他）	低	13M		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		26M			SN2-121 2次系ポンプ分解検査
		機能・性能試験		2C			SN2-122 2次系ポンプ機能検査
2 B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検（油入替他）	低	13M		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		26M			SN2-121 2次系ポンプ分解検査
		機能・性能試験		2C			SN2-122 2次系ポンプ機能検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2-HCV-3725 2号 T/D AFWP出口B流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	2-HCV-3735 2号 T/D AFWP出口C流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	2V-FW-557A 2号 M/D AFWP出口A流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-FW-557B 2号 M/D AFWP出口B流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-FW-557C 2号 M/D AFWP出口C流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-DW-100 2 A 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
電動機分解点検		130M				
2V-DW-102 2 B 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-FW-568B ② B T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	52M		
	2V-FW-568C ② C T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	52M		
	2V-FW-573A ② A 補助給水逆止弁	分解点検	高	52M		
	2V-FW-573B ② B 補助給水逆止弁	分解点検	高	52M		
	2V-FW-573C ② C 補助給水逆止弁	分解点検	高	52M		
	2V-DW-108 ② A 電動補助給水ポンプ復水吸込逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-DW-111 ② B 電動補助給水ポンプ復水吸込逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-DW-115 ② 号タービン動補助給水ポンプ復水吸込逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-DW-130 ② 号タービン動補助給水ポンプ油冷却器冷却水逆止弁	分解点検	高	130M		
	スチームコンバータ	開放点検	低	26M		
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		39M		
	低温再熱蒸気管（A 湿分離器左側）	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	低温再熱蒸気管（A 湿分離器右側）	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	低温再熱蒸気管（B 湿分離器左側）	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	低温再熱蒸気管（B 湿分離器右側）	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	高温再熱蒸気管	開放点検（目視）	低	13M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第2 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第2 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第2 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第3 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第3 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第3 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第4 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第4 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第4 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第5 抽気管	開放点検（目視）	低	39M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第6 抽気管	開放点検（目視）	低	39M	SN2-129 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2 A-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		非破壊試験		13M		
2 A-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		非破壊試験		13M		
2 B-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		非破壊試験		13M		
2 B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		非破壊試験		13M		
2 A 清水加熱器		開放点検	高	13M		
2 B 清水加熱器		開放点検	高	13M		
2 A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M		
2 B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M		
2 A-1 空気だめ		開放点検	高	13M		
2 A-2 空気だめ		開放点検	高	13M		
2 B-1 空気だめ		開放点検	高	13M		
2 B-2 空気だめ		開放点検	高	13M		
2 A 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M		
2 B 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M		
2 A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M		
2 A 潤滑油タンクヒータ		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
2 B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M		
2 B 潤滑油タンクヒータ		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
2 A 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M		
2 B 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M		
2 A シリンダ油サービスタンク		開放点検	高	130M		
2 B シリンダ油サービスタンク		開放点検	高	130M		
2 A 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	26M		
2 B 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	26M		
2 A 潤滑油主こし器（4基）		開放点検	高	26M		
2 B 潤滑油主こし器（4基）		開放点検	高	26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2 A 燃料油第1こし器 (2基)	開放点検	高	26M		
	2 B 燃料油第1こし器 (2基)	開放点検	高	26M		
	2 A 燃料油第2こし器 (2基)	開放点検	高	26M		
	2 B 燃料油第2こし器 (2基)	開放点検	高	26M		
	2 A シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
	2 B シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
	2 A クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
	2 B クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
	2 A 空気圧縮機	簡易点検（油入替他）	低	13M		
		分解点検		39M		
	2 A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M		
	2 B 空気圧縮機	簡易点検（油入替他）	低	13M		
		分解点検		39M		
	2 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M		
	2 A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 軸受	機能・性能試験	高	1C		
	2 B 軸受	機能・性能試験	高	1C		
	2 A 調速装置	機能・性能試験	高	1C		
	2 B 調速装置	機能・性能試験	高	1C		
	2 A 計測装置	特性試験	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 計測装置	特性試験	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 1主始動弁	分解点検	高	13M		
	2 A 2主始動弁	分解点検	高	13M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	20-50(1,2号機共用)	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	2C		送電系との調整による 定検停止中又はプラント運転中
		普通点検		3C		
		精密点検(内部点検)		18Y		
	50T-10(1,2号機共用)	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	2C		送電系との調整による
		普通点検		3C		
		精密点検(内部点検)		18Y		
	500kV母線保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		送電系との調整による
	500kV送電線保護継電装置 1式	特性試験	低	6Y		送電系との調整による
	220kV送電線保護継電装置 1式	特性試験	低	26M		送電系との調整による 定検停止中又は定検起動後
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-2AEG	普通点検	高	13M		
	遮断器 4-2BEG	普通点検	高	13M		
	6.6kV 4-2C母線	簡易点検	高	1C		
		精密点検		65M		
	6.6kV 4-2C母線PT	普通点検	高	1C		
	6.6kV 4-2D母線	簡易点検	高	1C		
		精密点検		65M		
	6.6kV 4-2D母線PT	普通点検	高	1C		
	受電遮断器 4-211C	普通点検	高	13M		
	受電遮断器 4-211D	普通点検	高	13M		
	受電遮断器 4-2EC	普通点検	高	13M		
	受電遮断器 4-2ED	普通点検	高	13M		
	遮断器 3-2C11	普通点検	高	13M		
	遮断器 3-2D11	普通点検	高	13M		
	補機用遮断器 4-2C補機(安全系補機)	普通点検	高	13M		
	補機用遮断器 4-2D補機(安全系補機)	普通点検	高	13M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
440V 3-2C母線		簡易点検	高	1C			
		精密点検		65M			
440V 3-2D母線		簡易点検	高	1C			
		精密点検		65M			
遮断器 3-2CL		普通点検	高	13M			
遮断器 3-2DL		普通点検	高	13M			
3-2C 動力変圧器		普通点検	高	1C			
3-2D 動力変圧器		普通点検	高	1C			
補機用遮断器 3-2C補機（安全系補機）		普通点検	高	13M			
補機用遮断器 3-2D補機（安全系補機）		普通点検	高	13M			
2C1 原子炉コントロールセンタ母線（限流リアクトル含む）		普通点検	高	78M			
2C2 原子炉コントロールセンタ母線（限流リアクトル含む）		普通点検	高	78M			
2D1 原子炉コントロールセンタ母線（限流リアクトル含む）		普通点検	高	78M			
2D2 原子炉コントロールセンタ母線（限流リアクトル含む）		普通点検	高	78M			
2A ディーゼル発電機コントロールセンタ母線		普通点検	高	65M			
2B ディーゼル発電機コントロールセンタ母線		普通点検	高	65M			
2A 直流コントロールセンタ母線		外観点検	高	3C			
2A 充電器盤		普通点検	高	13M			
2A 後備充電器盤		普通点検	高	13M			
2A ドロッパ盤		普通点検	高	13M			
2A 蓄電池（安全防護系用）		普通点検	高	13M	SN2-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験		1C			SN2-223 直流電源系作動検査
				1C			直流電源系作動検査
2B 直流コントロールセンタ母線		外観点検	高	3C			
2B 充電器盤		普通点検	高	13M			
2B 後備充電器盤		普通点検	高	13M			
2B ドロッパ盤		普通点検	高	13M			
2B 蓄電池（安全防護系用）		普通点検	高	13M	SN2-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験		1C			SN2-223 直流電源系作動検査
				1C			直流電源系作動検査
2C 充電器盤		普通点検	高	26M			
タービン動補助給水ポンプ電動弁盤		普通点検	高	1C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設（計測装置）	S A用低圧炉心注入及びスプレイ積算流量	特性試験	高	13M	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
	2 A 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量	特性試験	高	13M		
	原子炉下部キャピティ水位	特性試験	高	13M		
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M		
	重大事故等対処用出力盤 1式	特性試験	高	26M		
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	26M		
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	多様化自動作動設備（A T W S 緩和設備）	特性試験	高	13M	SN2-207 重大事故時安全停止回路機能検査	
		機能・性能試験		1C		
計測制御系統施設（制御用空気設備）	2 A - 1 加圧器逃がし弁用窒素ポンペ	外観点検	高	1C		
	2 A - 2 加圧器逃がし弁用窒素ポンペ	外観点検	高	1C		
	加圧器逃がし弁用予備窒素ポンペ（A系）	外観点検	高	1C		
	2 B - 1 加圧器逃がし弁用窒素ポンペ	外観点検	高	1C		
	2 B - 2 加圧器逃がし弁用窒素ポンペ	外観点検	高	1C		
	加圧器逃がし弁用予備窒素ポンペ（B系）	外観点検	高	1C		
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンペ (2V-VS-101B)	外観点検	高	1C		
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンペ (2V-VS-102B/103B)	外観点検	高	1C		
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンペ (2V-VS-105B)	外観点検	高	1C		
	アニュラス空気浄化ファン弁用予備窒素ポンペ (2V-VS-101B)	外観点検	高	1C		
	アニュラス空気浄化ファン弁用予備窒素ポンペ (2V-VS-102B/103B)	外観点検	高	1C		
	アニュラス空気浄化ファン弁用予備窒素ポンペ (2V-VS-105B)	外観点検	高	1C		
	事故後サンプリング設備弁用窒素ポンペ (2V-SS-676A/679A)	外観点検	高	1C		
	事故後サンプリング設備弁用予備窒素ポンペ (2V-SS-676A/679A)	外観点検	高	1C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉施設（その他設備）	重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象） 1式	非破壊試験	高	7年間 10年間	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。[別紙-5]
		漏えい試験				
	重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象） 1式	漏えい試験	高	10年間	SN2-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	ISIプログラムによる。[別紙-6] 定検停止中又はプラント運転中
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	SN2-220 その他非常用発電装置の分解点検	
		普通点検		39M		
		精密点検		130M		
		機能・性能試験		1C		
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C	SN2-220 その他非常用発電装置の分解点検	
		普通点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		1C		
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	外観点検	高	1C		
		開放点検		130M		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ	分解点検	高	52M		(振動診断：1ヶ月)
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	分解点検	高	52M		(振動診断：1ヶ月)
	No. 2 可搬型直流変換器（1,2号機共用）	普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
	No. 3 可搬型直流変換器（1,2号機共用）	普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
	No. 4 可搬型直流変換器（1,2号機共用）	普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
	No. 6 可搬型直流変換器（1,2号機共用）	普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池（重大事故等対処用）	普通点検	高	13M	SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査	
		機能・性能試験		1C		
	蓄電池（3系統目）	普通点検	高	13M	SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査	
		機能・性能試験		1C		
充電器盤（3系統目）	普通点検	高	13M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉施設（その他設備）		非破壊試験	高	7年間 10年間	SN2-200 重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。[別紙-4]
		漏えい試験				
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	SN2-103 耐震健全性検査	
		その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)		開放点検	高	78M
気密試験	2C					
開放点検	高			78M		
気密試験				2C		
簡易点検	高			26M		
分解点検				169M	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査	
機能・性能試験				1C	SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査	
簡易点検	高			1C		
分解点検				169M		
分解点検	高			78M		
分解点検	高			52M		
普通点検	高			43M		
外観点検	高			1C		
取替	高			117M		
分解点検	高			117M		
簡易点検	高			26M		
分解点検				169M	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査	
機能・性能試験				1C	SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査	
簡易点検	高			1C		
分解点検				169M		
分解点検	高	78M				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
		分解点検	高	52M		
		普通点検	高	43M		
		外観点検	高	1C		
		取替	高	117M		
		分解点検	高	117M		
		簡易点検	高	13M		
		分解点検		65M		
		分解点検	高	65M		
		簡易点検	高	13M		
		分解点検		65M		
		分解点検	高	65M		
		取替	高	117M		
		簡易点検	高	1C		
		分解点検		39M		
		取替	高	117M		
		簡易点検	高	1C		
		分解点検		39M		
		簡易点検	高	1C		
		普通点検		26M		
		分解点検		104M	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査	
		機能・性能試験		1C	SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C		
		普通点検		26M		
		分解点検		104M	SN2-220 その他非常用発電装置の分解検査	
		機能・性能試験		1C	SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		特性試験	高	13M		
		特性試験	高	13M		
		外観点検	高	1C		
		外観点検	高	1C		
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	130M		

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容(添付書類二及び三)についての評価結果

川内原子力発電所 第2号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類1	分類2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	プラントレベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF 2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31 UA 2020. 2. 1 ～ 2022. 12. 31	系統レベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検報告書等	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、定期事業者検査評価・改善報告書等により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	不適合・是正処置報告書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価の結果	⑤高経年化技術評価及び安全性向上評価	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	川内 1,2 号機の高経年化技術評価（長期保守管理方針）及び安全性向上評価（安全性向上計画等）により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	未然防止処置対策実施確認票により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報（NUCIA 情報）		
	⑧海外情報		⑨通達等の文書
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑪電力共通研究・技術開発		保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報	2021. 11. 1 ～ 2022. 12. 31	方針決定文書等によって、保全方式又は頻度等の変更を行う。 添付－2 参照

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

※インプット情報の項目は、添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応 但し、「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報については、「その他」とする

※※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	
	なし							

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
1	設計基準事故対処設備等 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備) 2V-SF-059 2号 S F P D W供給 逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事を完了に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	-	SN2-87 1次系逆止弁検査
2	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設 備) 2V-BD-001A 2 A S/Gブローダ ウン第一隔離弁 (外隔 離弁)	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
3	2V-BD-001B 2 B S/Gブローダ ウン第一隔離弁 (外隔 離弁)	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
4	2V-BD-001C 2 C S/Gブローダ ウン第一隔離弁 (外隔 離弁)	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
5	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設 備) 2V-SI-191A 2 A 余熱除去ポンプ供 給弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	①	
6	2V-SI-191B 2 B 余熱除去ポンプ供 給弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	①	
7	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2-PCV-104 2号 抽出ライン圧力 調節弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
8	2-TCV-104 2号 冷却材混床式脱 塩塔入口3弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
9	2V-CS-165A 2 A, 2 B C H/S I ポンプ出口ヘッド第1 弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	①	
10	2V-CS-165B 2 B, 2 C C H/S I ポンプ出口ヘッド第1 弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
11	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2V-CS-166A 2号 C R D M / S I ポンプ出口ヘッダ第2 弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
12	2V-CS-166B 2号 C R D M / S I ポンプ出口ヘッダ第2 弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
13	2V-CS-227 2号 C ループ充てん 弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
14	2V-CS-321 2号 封水冷却器管側 入口逃がし弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「130M」から「143M」に変更した。	①	
		保全方式 又は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、漏えい試験の点検頻 度を「10C」から「11C」に変更した。	①	SN2-86 1次系安全弁検査
		保全方式 又は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能・性能試験の点 検頻度を「10C」から「11C」に変更し た。	①	SN2-86 1次系安全弁検査
15	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2V-CS-090 2号 体積制御タンク 入口逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「130M」から「143M」に変更した。	①	
16	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設 備) 2V-CC-482 2号 C R D M冷却水入 口弁 (外隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
17	2V-CC-544 2号 R C P冷却水第1 出口弁 (内隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
18	2V-CC-546 2号 R C P冷却水第2 出口弁 (外隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
19	2-PCV-1202 2号 補機冷却水サー ジタンクN2供給圧力 制御弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、駆動部点検の点検頻 度を「130M」から「143M」に変更した。	①	
		保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「130M」から「143M」に変更した。	①	SN2-85 1次系弁検査
		保全方式 又は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能・性能試験の点 検頻度を「10C」から「11C」に変更し た。	①	SN2-85 1次系弁検査
20	計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有 する設備) ほう酸フィルタ	保全方式 又は頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「65M」から「78M」に変更した。	①	
21	2V-CS-519 2号 急速ほう酸補給弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
22	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2A 制御用空気除湿装 置送風機用電動機	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	
23	2B 制御用空気除湿装 置送風機用電動機	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	
24	2V-1A-508A 2A 1AS格納容器隔 離弁 (外隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
25	2V-1A-508B 2B 1AS格納容器隔 離弁 (外隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
26	2V-1A-501A 2号 1ASヘッダ連絡 管 2Aヘッダ隔離弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
27	2V-1A-501B 2号 1ASヘッダ連絡 管 2Bヘッダ隔離弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
28	計測制御系統施設 (その他設備) AM設備制御盤 1式	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、特性試験の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
29	放射性廃棄物の廃棄施 設 (気体、液体又は固体 廃棄物処理設備) 2A ガス圧縮装置気水 分離器	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
30	2B ガス圧縮装置気水 分離器	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
31	2V-WL-086 2号 ABDT逃がし 弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「130M」から「143M」に変更した。	①	
		保全方式 又は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、漏えい試験の点検頻 度を「10C」から「11C」に変更した。	①	SN2-86 1次系安全弁検査
		保全方式 又は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、機能・性能試験の点 検頻度を「10C」から「11C」に変更し た。	①	SN2-86 1次系安全弁検査
32	2V-WL-212 2A ドラム詰パッチ タ ンク窒素供給逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆 止弁への取替工事が完了に伴い点検時期の 見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検につい ては、溶接ノイズ発生による計装設備へ の影響を考慮して、定期事業者検査期間 中に実施していた。今回、キャノピー式 逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止 弁への取替工事が完了したことから、点 検頻度を「130M」から、これまでの 「10Y」に戻した。	-	SN2-87 1次系逆止弁検査
33	2V-WL-556 2B ドラム詰パッチ タ ンク窒素供給逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆 止弁への取替工事が完了に伴い点検時期の 見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検につい ては、溶接ノイズ発生による計装設備へ の影響を考慮して、定期事業者検査期間 中に実施していた。今回、キャノピー式 逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止 弁への取替工事が完了したことから、点 検頻度を「130M」から、これまでの 「10Y」に戻した。	-	SN2-87 1次系逆止弁検査
34	2V-BE-028 濃度計ブリズム洗浄蒸 気逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆 止弁への取替工事が完了に伴い点検時期の 見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検につい ては、溶接ノイズ発生による計装設備へ の影響を考慮して、定期事業者検査期間 中に実施していた。今回、キャノピー式 逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止 弁への取替工事が完了したことから、点 検頻度を「130M」から、これまでの 「10Y」に戻した。	-	SN2-87 1次系逆止弁検査

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
35	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体 廃棄物処理設備) 2V-BE-037 室素供給逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
36	2V-WF-127 濃度計ブリズム洗浄蒸 気逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
37	2V-WF-137 室素供給逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
38	2V-WF-222 濃度計ブリズム洗浄蒸 気逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
39	2V-WF-235 室素供給逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
40	2V-WS-054 2号 S R S T 室素供給 逆止弁	保全方式 又は頻度	130M	10Y	「その他」	キャノピー式逆止弁からボンネット式逆止弁への取替工事に伴い点検時期の見直しを実施した。	キャノピー式逆止弁の分解点検については、溶接ノイズ発生による計装設備への影響を考慮して、定期事業者検査期間中に実施していた。今回、キャノピー式逆止弁から溶接不要なボンネット式逆止弁への取替工事が完了したことから、点検頻度を「130M」から、これまでの「10Y」に戻した。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
41	放射線管理施設 (換気設備) 2V-WS-104A 2 A アンユラス空気浄 化よう素除去フィルタ ユニットバイパス弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
42	2V-VS-104B 2 B アンユラス空気浄 化よう素除去フィルタ ユニットバイパス弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
43	2 A 中央制御室空調 ファン用電動機	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
44	2 B 中央制御室空調 ファン用電動機	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	①	
45	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他 の安全設備) 2V-CP-001A 2 A スプレイポンプ供 給弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	①	
46	2V-CP-001B 2 B スプレイポンプ供 給弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者 検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
47	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の 安全設備) 2V-SS-561 2号 Bループ高温側サ ンプル弁 (内隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
48	2V-SS-564 2号 Cループ高温側サ ンプル弁 (内隔離弁)	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
49	2V-VS-105A 2 A アンユラス全量排 気弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系 主要弁分解検査
50	2V-VS-105B 2 B アンユラス全量排 気弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系 主要弁分解検査
51	2V-VS-106A 2 A アンユラス少量排 気弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系 主要弁分解検査
52	2V-VS-106B 2 B アンユラス少量排 気弁	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、分解点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系 主要弁分解検査
53	蒸気タービン (蒸気タービンに附属 する熱交換器) 2 A 湿分離器	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検 (目視) の 点検頻度を「13M」から「26M」に変更し た。	①	
54	2 B 湿分離器	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検 (目視) の 点検頻度を「13M」から「26M」に変更し た。	①	
55	蒸気タービン (蒸気タービンに附属 する給水ポンプ及び貯 水設備並びに給水処理 設備) 2 A タービン動主給水 ポンプ (簡易点検)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、簡易点検 (ストレー ナ清掃他) の点検頻度を「13M」から 「26M」に変更した。	①	
56	2 B タービン動主給水 ポンプ (簡易点検)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、簡易点検 (ストレー ナ清掃他) の点検頻度を「13M」から 「26M」に変更した。	①	
57	2V-FW-557A 2号 M/D AFWP 出口A流量制御弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
58	2V-FW-557B 2号 M/D AFWP 出口B流量制御弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
59	2V-FW-557C 2号 M/D AFWP 出口C流量制御弁	保全方式 又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、電動機分解点検の点 検頻度を「130M」から「143M」に変更し た。	①	
60	スチームコンバータ	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
61	その他発電用原子炉の 附属施設 (非常用電源設備) 2 A 潤滑油逆洗こし器	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
62	2 B 潤滑油逆洗こし器	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
63	2 A 潤滑油主こし器 (4基)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
64	2 B 潤滑油主こし器 (4基)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
65	2 A 燃料油第1こし器 (2基)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
66	2 B 燃料油第1こし器 (2基)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
67	2 A 燃料油第2こし器 (2基)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
68	2 B 燃料油第2こし器 (2基)	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、開放点検の点検頻度 を「13M」から「26M」に変更した。	①	
69	その他発電用原子炉の 附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 6. 6 k V 4-2 C 母線	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、精密点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	
70	6. 6 k V 4-2 D 母線	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、精密点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	
71	4 4 0 V 3-2 C 母線	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、精密点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	
72	4 4 0 V 3-2 D 母線	保全方式 又は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、 過去にトラブルがなかったこと等を総合 的に評価した結果、精密点検の点検頻度 を「52M」から「65M」に変更した。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者 検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
73	重大事故等対処設備 計測制御系統施設 (計測装置) 重大事故等対処用入 出力盤 1式	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	当該点検の実施内容はソフトウェアの バージョン確認、外観確認等であり、過 去の点検結果に問題がなかったこと、過 去にトラブルがなかったこと等を総合的 に評価した結果、特性試験の点検頻度を 「13M」から「26M」に変更した。	①	
74	重大事故等対処用制 御盤	保全方式 又は頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	当該点検の実施内容はソフトウェアの バージョン確認、外観確認等であり、過 去の点検結果に問題がなかったこと、過 去にトラブルがなかったこと等を総合的 に評価した結果、特性試験の点検頻度を 「13M」から「26M」に変更した。	①	
75	非常用電源設備 大容量空冷式発電機 用給油ポンプ	保全方式 又は頻度	130M	52M	「その他」	2号機大容量空冷式発電機用給油ポンプ 分解点検時に、軸受ベアリングに発錆が 確認されたことから、点検頻度の見直し を検討した。	軸受ベアリングに発錆が確認されたこと を考慮し、分解点検の点検頻度を 「130M」から「52M」に変更した。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
76		点検及び 試験の項目	普通点検	外観点検	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点 検及び試験の項目等の見直しを検討し た。	当該点検の実施内容は外観の確認である ことから、点検及び試験の項目を「普通 点検」から「外観点検」に、点検頻度を 「13M」から「1C」に見直した。	—	
		保全方式 又は頻度	13M	1C					
77		点検及び 試験の項目	普通点検	外観点検	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点 検及び試験の項目等の見直しを検討し た。	当該点検の実施内容は外観の確認である ことから、点検及び試験の項目を「普通 点検」から「外観点検」に、点検頻度を 「13M」から「1C」に見直した。	—	
		保全方式 又は頻度	13M	1C					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価		備考 (関連する定期事業者 検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対 象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		
	なし						

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル (評価対象期間：2021年11月1日～2022年12月31日)

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動停止回数	1回/7000 臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回/7000 臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFF回数評価対象期間：2021年11月1日～2022年12月31日 UA時間評価対象期間：2020年2月1日～2022年12月31日)

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【系統共通箇所以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (安全注入ライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル 【蓄圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (格納容器スプレイ系への供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (余熱除去系統経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉格納容器スプレイ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう素除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<1時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)					
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全補機室給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1) 未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1) 原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (事故時サンプリングエリア給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (補助給水ポンプ室換気系)	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (制御用空気圧縮機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (安全補機開閉器室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)					
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスタ案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
原子炉格納施設	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷却材ほう素濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/基	0時間	
主給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【タービン動補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【復水タンク】 <168時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
所内電源系統 (M/C,P/C)	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
所内電源系統 (C/C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<2時間/2サイクル/母線	0時間	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
安全系ヒートトレース設備	未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
ディーゼル発電機始動空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル (インターロック)	0時間	
		<1回/サイクル	0回	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) <1時間/2サイクル/チャンネル (インターロック) 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用循環系論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
中央制御室外原子炉停止盤	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
	1次系フィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	充てん/高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	炉心注入 代替炉心注入 (B充てん/高圧注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型電動低圧注入ポンプ又は 可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 <72時間/2サイクル	0時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル	0時間	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	水素濃度低減<72時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉補助建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用水タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回	電源設備 (変圧器車、可搬型分電盤以外) <720時間/2サイクル 変圧器車、可搬型分電盤 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	0時間	
	計測設備	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル 記録機能 —	0時間	
	中央制御室	<2回/サイクル	0回	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	0時間	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	

参考
(7/8)

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
特定重大事故等対処施設		<1回/サイクル	0回		0時間	
	代替注入（炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ）をするための設備(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	フィルタベントをするための設備(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	緊急時制御室(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回		0時間	
	計装設備	<1回/サイクル	0回		21時間	
	通信連絡設備	<2回/サイクル	0回		0時間	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし